

令和4年10月1日（土） 大道連審判講習会

枚方市総合体育館武道場にて。会長の森文男先生、副会長の佐藤誠先生の講師により開催される。佐藤先生の講話。世の中と剣道界の置かれた状況、審判員の心得と留意すべき事項など、先生の貴重なご経験も紹介していただきながら、わかりやすく指導していただき、実にいい勉強になった。でき得る限りメモに残しておいた。実技指導を見学、いい参考にさせてもらう。

隣の陸上競技場では、高校の陸上大会が行われている。合間に見学してみる。都工の陸上部員も参加している。私が担任するクラスの子の姿も。顧問の雑賀先生にもご挨拶。楽しい日になる。

令和4年10月1日（土） 都工剣道部

都工剣道場にて。次週の審査を控えた部員の稽古をメインに展開する。生野工の廣田先生が来訪、一緒に稽古に参加。素振りは一しょで行う、合わせて200本。基本稽古。切り返しを繰り返し指導。7～8回したか。正面打ちから順にいつもの稽古を行う。要所要所で指導。普段も言及する留意点であるが、何度口にしても惜しくはない。地稽古、掛かり稽古を見守った後、剣道形の指導。次週審査でのS君と廣田先生の佳い結果を楽しみにする。

令和4年10月1日（土） 明剣館

三中にて。稽古途中から道場に入る。多くの一般の方が参加。基本稽古、地稽古をずっと見守る。今日は少し疲れた。

令和4年10月13日（木） 明剣館

殿二小にて。2週間の間、（火）（木）の稽古を欠席したため、久々に小学生の指導にあたる。素振りを一緒に行った後、足捌きの指導。面を着けての基本稽古を指導。一般の元立ちが少なく、段取りを工夫。2週間の間のわずかながらも進歩の跡に目を細める。正しく、大きく、力強くは常に根本。終わりに一度だけ地稽古。ここまで繰り返してきた基本技の形を崩さないようにくどく諭す。終礼で武道の競技の特性を説明して基本の大切さを話す。

令和4年10月18日（火） 明剣館

三中にて。素振り、足さばきの指導。基本稽古、3年生以上はお互いに向かい合って、1、2年生のみ一般の元立ちにかかる形で行う。一般の元立ちに受けてもらうときはいい基本ができているが、小学生に受けてもらうと物足りなくなってしまうところが課題。

令和4年10月20日（木） 明剣館

殿二小にて。今日も3年以上はお互いに組んで、2年以下は一般の元立ちにかかる形で行う。小学生相手の時にも自分のいい基本が少し出せるようになってきた。終礼後に木刀の稽古法の指導。導入としてじっくりと説明と繰り返しの稽古を行う必要を感じる。

令和4年10月22日（土） 明剣館

三中にて。青田さんと山本君、川野さんの3人の稽古になる。山本君の基本が理に適ったものになるべく微に入り細に入りの指導。川野さんが基本のいい見本を示してくれている。できるだけ参考にしようとする。山本君の基本がどんどん良くなっている実感。次回までわすれていないことを願って。

令和4年10月23日（日） 明剣館

殿二小にて。月に一度の道内試合を行う。今回は2年生以下と3年生以上に分けて行う。

始めに基本試合、続いて試合を行う。基本試合の狙いは明確。試合が1人1人の正しい基本の妨げになってはならない。試合に勝つために正しい基本を一生懸命行ってもらいたいから。皆が期待に応えてくれているのが嬉しい。一般の方に基本を受けてもらっているときは大きく正しい基本を引き出してもらえて、のびのびといい技が出せている。小学生同士で基本稽古をしているときも劣らぬいい基本ができていると願う。

試合の部。クラスごとのリーグ戦で行う。いくつかの改善点。相手を討とうと思うあまり、基本からかけ離れてしまっている場合が見受けられること。一本（有効打突）は、正しい基本技で相手の打

突部位をとらえることが大前提である。相手も必死になっているなかで、自分の基本技を崩すことなく打突の機会に施せることが、今のうち子ども達に求められることであると思う。次に、一番の打突の好機を逃してしまっていること。技を交わした後、相手の視線が自分から外れているときは絶好の機会である。これを見過ごして、相手が自分の方を見るのを待っていることで、絶好の機会を失っている。向かい合ってお互いを見据えて構えているときは、そうそう打てるものではない。試合の部を終えて一般の稽古の合間に、打ち込み・掛かり稽古で子ども達の稽古を終える。

一般の方々の稽古終了後、子ども達は、先生方・一般の方々に指導を受けに行く。指導・助言の後、半日頑張ったご褒美におやつを貰う。いい一日になった実感。

令和4年10月25日（火） 明剣館

三中にて。今日は中学生、一般の方が揃って、終始子ども達が基本を大人の方に受けてもらえる形で行えた。1人1人がいい基本を施せている。あと、審査に向けて、元立ちもできるようにしておく必要がある。終礼の後、審査受験組に木刀の稽古法の指導。片手間の時間では不十分。まとまった時間に本格的に指導する必要あり。

令和4年10月29日（土） 都工剣道部

都工剣道場にて。今日は旭陽中剣道部員が岡崎先生引率のもとで来校。都工との合同稽古を実施。メニューは普段の都工の稽古とそう変わるものではないが、一つ一つに私が留意点を解説する。面を着けての基本稽古では、都工生の元立ちに1列目が中学の初級者、2列目が中2男子の経験、1組3人で行う。都工の元立ちは、1列目、2列目の順で受けて、2列目の中学生に元立ち側の基本を受けてもらう形で行う。注意すべきことをできるだけ丁寧に伝えながらの指導。都工の部員も合同稽古の趣旨を理解してくれていて、親睦を深められるようコミュニケーションに努めてくれた。地稽古では、旭陽中の指導員の長野先生も加わり、都工の部員も稽古を着けてもらう。都工の部員たちも楽しかったと見受ける。旭陽中の部員たちも満足してもらえたように思う。いい1日になった実感。

令和4年10月29日（土） 明剣館

三中にて。審査まであと1ヶ月、受審する子ども達が集合、木刀による稽古法を指導。

令和4年10月30日（日） 枚方秋季総体実行委員会

13:30～渚体育館会議室にて。11月20日(日)開催の枚方秋季総体の準備。現在の事情のなかで大会が円滑に行われることを願う。精力的に準備にあたっている事務局の皆さん、実行団体の皆さん役員の方々に感謝。